

2026 年 10 月 8 日

コトブキシーティング株式会社

コトブキシーティング、学校空間の多目的活用を提案
10/13～10/15 開催の「第 9 回 EDIX(教育総合展)大阪」に出展
～「学ぶ」「集う」「繋がる」未来の学校施設を提案する 3 つの展示～

コトブキシーティング株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役:深澤啓子、以下、当社）は、2026 年 10 月 13 日（火）～15 日（木）にグランキューブ大阪にて開催される「第 9 回 EDIX（教育総合展）大阪」に出展いたします。

当社ブースでは、教師と生徒・生徒同士の双方向コミュニケーションを重視した講義室「レクチャーシアター」を再現したエリアのほか、体育館などの大空間を仕切ることでの利用の幅を広げることのできる「大型電動間仕切 SIKIRUTO（シキルト）」、軽スポーツから発表の場までスムーズに最適な場面転換を実現する「移動観覧席」、の実物展示を行います。探究学習や N-E.X.T.ハイスクール構想をはじめとした児童や生徒の主体的な学びのための場づくり、公共施設としての有効活用など、これからの学校に必要な不可欠な施設の在り方をご提案します。



第 17 回 EDIX（教育総合展）東京の様子

出展の背景

現在、学校施設をとりまく環境は大きな転換期を迎えており、次のような柔軟な環境整備が求められています。

- ・「主体的な学び」を促す空間へのアップデート

探究学習の本格化や「N-E.X.T.ハイスクール」構想など、生徒が自ら考え対話する主体的な学びが広まっています。これにより、従来の一方向型の授業から、双方向のコミュニケーションを誘発する新しい教室環境へのアップデートが急務となっています。

- ・多様なニーズに応える柔軟な施設活用

学校は児童や生徒の学びの場であると共に、地域の交流拠点や公共施設再編に伴う新たな役割も期待されています。限られたスペースや予算の中で豊かな施設活用を行うため、一つの空間を多目的に使える自由な発想が必要とされています。

このような背景をふまえ、コトブキシーティングでは『学ぶ』『集う』『繋がる』未来をひらく学校施設』をテーマに、これからの時代に求められる学校の環境整備を具現化した製品を出展します。

これからの学校施設を具現化する展示製品

① 双方向コミュニケーションによって理解を深める講義室「レクチャーシアター」

ブース内に、新しい学びの場である「レクチャーシアター」を再現。教師と生徒、生徒同士が視線を合わせやすいレイアウトにより、活発なディスカッションを促します。探究学習やアクティブラーニング、2040年を見据えた高校教育改革（N-E.X.T.ハイスクール）の先行的取組にも対応する、次世代の学修環境をご体感いただけます。



② 体育館の使い勝手を高める「大型電動間仕切 SIKRUTO（シキルト）」

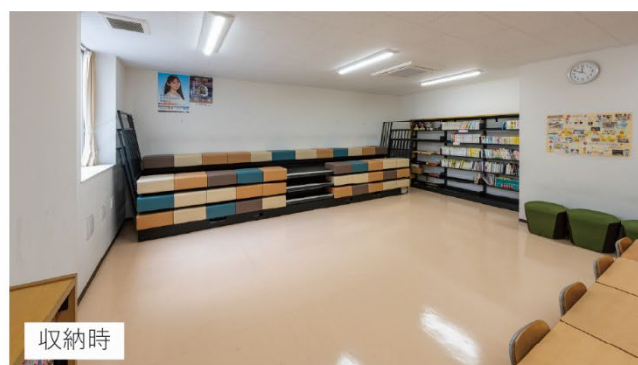
体育館や講堂などの大空間を、用途に合わせて柔軟に分割できる大型電動間仕切です。2クラスによる別々の授業や、異なる部活動など、一つの空間で複数の活動を同時に行えるようにし、学校施設の有効活用を支援します。



③ 簡単操作で発表の場を創出する「移動観覧席」

普段は壁面にコンパクトに収納し、必要なときにリモコンなどの簡単な操作で階段状の客席を展開できるシステムです。軽スポーツやレクリエーションに利用するフラットな空間を、式典、演劇、プレゼン

テーションなどの「発表の場」へスムーズに転換できます。



当社ブースにお立ち寄りいただいた方には、最新の専門カタログや納入事例集をお渡しいたします。

展示会概要

展示会名 : 第9回 EDIX(教育総合展)大阪

会場所在地 : 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

アクセス : 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
大阪駅から無料シャトルバスあり

会期 : 2026年10月13日(火)～15日(木)

会場 : グランキューブ大阪

ブース番号 : 3F-3-17

詳細 URL : <https://www.kotobuki-seating.co.jp/news/detail.html?itemid=2111>

コトブキシーティング株式会社 会社概要

創業 : 1914年(大正3年)12月

設立 : 2010年(平成22年)7月

所在地 : 東京都千代田区神田駿河台1-2-1

代表者 : 代表取締役 深澤啓子

事業内容 : 公共施設家具事業／文化・スポーツ・教育施設・議場向け等の家具の製造・販売
カプセルベッド事業／宿泊・仮眠用カプセルベッドの製造・販売
ならびにこれらの輸出入

URL : <https://www.kotobuki-seating.co.jp/>

本件に関する取材・撮影・インタビューを歓迎しております。

担当者への取材調整や追加素材の提供も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

<本件に関する問い合わせ先>

コトブキシーティング株式会社 広報企画部

朝倉 三和子(あさくら みわこ)

mail. asakura_m@kotobuki.co.jp